

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並芸術会館の維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	3	整理番号	72				
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	文化振興担当			連絡先電話番号	3755		昨年度整理番号	71					
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備		予算事業区分				既定事業									
事業開始		平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等		根拠法令等		(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則									
事務事業の概要		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) ホール(B・C)の貸出し回数=3時間帯×開館日×2室 (2) 芸術文化普及振興事業の実施延日数											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標													
○協定に基づく指定管理業務を実施する。 ○芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・企画する。 ○運営評価委員会により、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理について評価する。		成果指標名(1)		ホール利用率													
		算定式・指標の説明等		ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数×100													
		成果指標名(2)		芸術文化普及振興事業への参加者数													
		算定式・指標の説明等		公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数													
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①	回	0	0	0	857	1,806	1,886	95.8	210.7						
	活動指標(2)	②	日	0	0	0	200	530	400	132.5	265.0						
	成果指標(1)	③	%	0	0	0	80	81.3	80	101.6	101.6						
	成果指標(2)	④	人	0	0	0	20,000	90,000	43,000	209.3	450.0						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	32,342	164,469	157,466	273,474	269,740	254,383	21年度予算執行率% 98.6							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	28,830	156,158	149,208	255,148	255,107	241,983	(各年度の主な経費の推移) ○19年度…							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.23 0.00	1.00 0.00	指定管理費(開館前準備業務) 芸術監督費 運営評価委員会費							
	人件費	⑨	千円	9,140	9,050	9,050	8,879	10,921	8,879	○20年度…							
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	指定管理費(開館前準備業務、維持運営業務) 芸術監督費 運営評価委員会費							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	41,482	173,519	166,516	282,353	280,661	263,262	ブレ事業委託費 ○21年度、22年度…							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円				329,467	155,405	139,587	指定管理費(維持運営業務、芸術文化普及振興実施業務) 芸術監督費 運営評価委員会費							
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0								
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0								
	国からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0								
	都からの補助金等	⑯	千円		0	0	13,000	10,000	7,500								
その他の補助金等	⑰	千円		0	0	13,000	10,000	7,500									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	13,000	10,000	7,500									
差引:一般財源(⑱-⑬)	⑲	千円	41,482	173,519	166,516	269,353	270,661	255,762									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 72

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	管理運営委託(指定管理者)	1	館		249,265
	芸術監督報酬ほか				4,200
	運営評価委員会開催	1	回		44
	その他 ()				16,231
(2)事業実績	指定管理者の業務として、前年度から引き続き準備作業を行い、平成21年5月に開館しました。年間を通じて様々な芸術文化普及振興事業を実施するとともに、区民等への施設の貸出業務や保守管理業務等、施設の維持運営を行いました。 運営評価委員会を開催し、これまでの実施状況について評価を求めました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①高円寺会館改築後の施設(杉並芸術会館)に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことになりました。 ②施設の運営に関しPFI方式も検討されたが、指定管理者制度を導入することになりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小劇場(座・高円寺1)や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール(座・高円寺2)、阿波おどり利用を優先した阿波おどりホール等を有し、個性的な新しい芸術文化施設として、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれています。			
	今後の予測	地域住民の文化芸術活動・阿波おどりの活動や、地域イベントの拠点となり、高円寺や杉並の魅力を発信していくとともに、区内外からの来場者の増加による高円寺地域の一層の活性化が期待されています。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	優れた芸術文化の普及振興を図るとともに、区民の様々な文化・芸術活動の拠点として、区の芸術文化活動のための基盤の整備に大きく貢献しています。また、多数の来場、地域との協働によるイベントの開催等により地域を活性化しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容→)	施設で実施する事業、また地域イベントの認知度を高めることにより、来場者・来街者数を拡大し、地域をより活性化することができます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	他の区立施設等に準じた施設利用料金を決めました。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	管理運営業務がスタートし、事業の規模、より効率的な運営体制などを事業者と協議していきます。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 指定管理者	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	「座・高円寺地域協議会」の活動を中心として、本施設への支援、また、施設開館後に新たな街ぐるみのイベントが生まれ、多くの来街者を集める等、地域活性化への動きが現れています。今後は、活性化の効果を明らかにしながら、その動きを上げ、高円寺地域の一層の活力の向上につなげていきます。 区の文化振興施策において、杉並公会堂、文化協会等との関係など、本施設の位置付けを整理し、効果的な運営を目指します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	施設の維持運営については、指定管理者と定例会等で協議しながら、より効率的で利便性の高い運営形態となるよう改善を重ねています。また、芸術文化普及振興事業については、事業の広報PRを協力して行うことによりチケットの販路拡大を支援し、また、助成金・賛助金の獲得に必要な情報提供を行なう等、指定管理者のインセンティブを高めています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	「座・高円寺地域協議会」の活動を側面的に支援する等により、事業者と地域との協働を深めながら、地域イベントの拡大等様々な取り組みを行い、活性化の効果を更に発揮できるようにしていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	初期時(オープン後の1、2年度目)に発生する様々な状況等を踏まえながら、改善・見直しの方向性を定めていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	初期時(オープン後の1、2年度目)に続き、経常期に移行していく時期として、芸術文化普及振興事業及び施設維持運営を安定的に実施できる指定管理料を見積ります。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の運営管理			款	7	項	5	目	1	事業	11	整理番号	543	
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館			係名				連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	526		
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備						予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 博物館利用者				根拠法令等			(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。				活動指標名(式)			(1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託 ○展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事の周知・実施 ○学校教育等への支援・連携 ○研究紀要・年報等の発行				成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 事業参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) アンケート結果 算定式・指標の説明等 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	回	40	40	40	40	48	45	106.7	120.0				
	活動指標(2)	②	点	126,347	127,000	128,455	129,100	136,377	137,400	99.3	105.6				
	成果指標(1)	③	人	55,047	56,000	50,866	55,000	51,276	55,000	93.2	93.2				
	成果指標(2)	④	点	2.64	2.80	2.65	2.80	2.56	2.80	91.4	91.4				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	13,651	22,606	15,809	21,048	14,158	17,137	21年度予算執行率%		67.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	1,276	564	1,276	370	400	特記事項 展示経費・郷土資料購入費不用額による執行残です。					
	(内)委託費	⑦	千円	3,633	5,614	5,524	5,080	2,768	4,695						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.23 11.00	4.50 11.00	5.01 11.00	3.50 12.00	3.97 12.00	3.50 11.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	20,382	40,725	45,341	31,077	35,250	31,077					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	30,470	30,800	30,800	33,516	33,516	30,723					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	64,503	94,131	91,950	85,641	82,924	78,937						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,612,575	2,321,375	2,284,650	2,109,125	1,719,875	1,745,267						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	1,747	1,249	1,632	1,249	2,115	1,249					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,747	1,249	1,632	1,249	2,115	1,249						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	62,756	92,882	90,318	84,392	80,809	77,688						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	2.7	1.3	1.8	1.5	2.6	1.6							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 543

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	回数	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	特別展・企画展・講座・教室等の開催	48	回		10,888
	博物館事業の運営管理経費(執)				2,802
	郷土博物館運営協議会の開催	4	回		468
	その他 ()				0
(2)事業実績	特別展・企画展・講座・教室等の開催により、27,741人の来館者がありました。刊行物として「炉辺閑話」、「年報」、展示図録(3回)を発行しました。郷土博物館運営協議会を4回開催しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年4月郷土博物館分館開館 入館者数:平成元年17,326人、平成2年24,622人、平成10年18,884人、平成15年14,027人、平成19年14,923人(本館)・17,028人(分館)、平成20年13,324人(本館)・12,740人(分館)、平成21年13,155(本館)・14,586(分館)			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けており、特に目立った要望・苦情等はありません。			
	今後の予測	区民の生涯学習を支える拠点として活性化を図っていくため、平成23年度から地域のNPO法人等との協働運営を推進するとともに、区民参加型の事業を拡充するなど事業の見直しを進めます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容→)	展示解説、企画展示、調査研究について区民との協働を進め、区民目線による事業運営により事業の魅力を高める。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	博物館法により維持運営のためにやむを得ない事情がある場合を除き、利用に対する対価の徴収はできなくなっています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	民間活力の活用によりコストの削減は可能と考えます。地域博物館という性格を踏まえ、地域のNPO法人等との協働化を進めます。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	博物館の活性化に向けて、講座等を例年より多く実施するとともに展示解説ボランティア制度を導入し、事業実施回数では昨年を8回上回るなど事業の充実に取り組みました。また、看板や掲示物の見直しを行ったほか、収蔵資料の電子データ化を進めホームページでの公開に取り組み、PR効果を高めました。協働運営の構築については、博物館運営について学ぶ講座を「すぎなみ地域大学」とともに開講して協働の担い手の育成を行いました。今後は協働の仕組みづくりを構築することが大きな課題です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	協働による運営体制の構築に向け、運営の受け皿づくりを進めるため平成21年度すぎなみ地域大学後期(10~3月)において、「郷土博物館管理運営講座(計18回)」を開催しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成23年度を目途に地域のNPO法人等を対象に、可能な範囲で業務委託を実施し、協働を進めてまいります。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	今年度、運営団体の選定と移行に向けた準備を行います。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	NPO法人等との協働による運営体制を構築するに際し、当初に必要となる移行のための経費が見込まれます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		郷土博物館の維持管理		款	7	項	5	目	2	事業	2	整理番号	546		
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		係名						連絡先電話番号	3317-0841	昨年度整理番号	533		
上位施策No・施策名		66 文化・芸術活動の基盤整備							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	博物館利用者							根拠法令等	(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。							活動指標名(式)					(1) 開館日数 (2)	
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫6か所の維持管理							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					成果指標名(1) 入館者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) アンケート結果 算定式・指標の説明等 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点	
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	日	295	294	294	295	295	295	295	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	人	31,951	35,000	26,064	30,000	27,741	30,000	92.5	92.5				
	成果指標(2)	④	点	2.46	2.80	2.63	2.80	2.63	2.80	93.9	93.9				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	29,911	41,360	37,101	38,424	31,029	36,266	21年度予算執行率% 80.8					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	5,692	4,688	1,727	1,568	1,727	特記事項 光熱水費節約による執行残です。					
	(内)委託費	⑦	千円	21,741	25,725	25,305	22,523	22,178	22,504						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.30 0.00	1.50 0.00	1.72 0.00	1.50 0.00	1.70 0.00	1.50 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	39,302	13,575	15,566	13,319	15,094	13,319					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	69,213	54,935	52,667	51,743	46,123	49,585						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	234,620	167,493	163,194	169,546	151,034	162,231						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	40	45	38	45	30	33					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	40	45	38	45	30	33						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	69,173	54,890	52,629	51,698	46,093	49,552						
受益者負担比率⑬÷⑰	⑲	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 546

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	2
		光熱水費	2	館	6,294
		施設維持管理	2	館	3,315
		その他 ()			0
	(2)事業実績	本館及び分館等を適正に維持管理するため、建物の保守管理及び不良箇所等の修繕等を行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集・保管資料数の増加:平成元年108,045点、平成21年128,505点、平成22年136,377点 本館収蔵庫での保管が困難となり、学校(6校)の教室を保管場所としています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	収蔵資料の保管場所について、学校の空き教室ではなく温湿度の管理が十分になされた収蔵庫を設置することが望ましいという要望を受けました。			
	今後の予測	施設の老朽化により、修繕費等の増加が見込まれます。 収蔵資料数の増加により、今後さらに保管場所の確保が必要となります。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
			当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)				
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		計画的に老朽化した施設の整備を行うことで一定程度の施設の改善が可能です。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		博物館法により維持運営のためにやむを得ない事情がある場合を除き、利用に対する対価の徴収はできなくなっています。		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		施設の老朽化により、今後一層維持管理経費の増加が見込まれます。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		本館は開館から20年が経過して、施設の老朽化や展示機器等の故障が現れてきたため、映像機器や古民家等の修繕を計画的に行いました。今後は職員による点検を定期的を実施して、故障箇所の早期発見及び計画的な修繕に引き続き励みます。また、収蔵資料については、学校収蔵分の全件点検を行い、場所、保存状況を確認するとともに、整理整頓を行ってスペースの有効活用に努めました。今後は、資料の整理を一層進めるとともに、収蔵庫の整備について関係課等と協議を進めていきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 学校の教室を引き続き収蔵資料の保管場所として使用できるよう関係機関と協議を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 既存施設の改築や廃止に併せた収蔵庫の整備に向け、関係機関と協議します。 計画的な修繕の実施に向け、関係機関と協議します。 資料の収集・廃棄を定める基準(案)について検討・策定します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関係機関の理解が得られるよう、引き続き協議します。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 施設の老朽化により、修繕にかかる経費について増加が見込まれます。